

# 日本福祉介護情報学会 2016 年度総会 次第

## 《議案》

### 1 報告事項

- (1) 学会の運営について
- (2) 会員加入状況（2016 年 12 月 10 日現在）  
117 名（個人会員：102 名 学生会員：14 名 名誉会員：1 名）
- (3) 研究紀要『福祉情報研究 13 号』『福祉情報研究 14 号』の発行並びに投稿規定の整備について（資料 1）
- (4) 個人情報の活用と保護に関する専門部会報告（資料 2：別紙）
- (5) 「キャリア段位制に関する学習会」の報告並びに研究活動の活発化
- (6) 日本社会福祉系学会連合への加入について（資料 3）

### 2 審議事項

- (1) 2015 年度事業報告・決算（資料 4）
- (2) 2016 年度事業計画（案）・予算（案）（資料 5）

### 3 その他

- (1) 岡本民夫名誉会員の叙勲について
- (2) 2017 年度研究大会の開催について
- (3) 住所等変更届の提出のお願い

《日時》 2016 年 12 月 10 日（土）12：10～12：55

《会場》 兵庫県立大学神戸商科キャンパス C104 教室（教育棟 I 1 階）

- 《資料》
- ① 『福祉情報研究』に関する規定及び執筆要項改定
  - ② 個人情報の活用と保護に関する専門部会等報告【別紙】
  - ③ 日本社会福祉系学会連合への加入
  - ④ 2016 年度事業報告・決算
  - ⑤ 2016 年度事業計画（案）・予算（案）

## 資料1 『福祉情報研究』に関する規定及び執筆要項改定

現行の規定では、論文以外の研究ノート等の掲載手順等が不明確であったため、以下の通り規定を改めることとした。次号第14号の原稿募集より、①論文以外は、英文抄録等の記載を求めない②論文以外の原稿については、編集委員会において協議を行うこととする。

### 【投稿規定】

改正前	改正後
<p>I 学会誌規定</p> <p>8. 「論文」の原稿の掲載の可否については、別に定める査読規定にもとづく査読結果を踏まえて編集委員会が理事会に提案を行い理事会が決定するものとする。「論文等」以外の掲載の可否については、編集委員会が理事会に提案を行い理事会が決定するものとする。</p>	<p>I 学会誌規定</p> <p>8. 「論文」の原稿の掲載の可否については、別に定める査読規定にもとづく査読結果を踏まえて編集委員会が理事会に提案を行い理事会が決定するものとする。「論文」以外の掲載の可否については、編集委員会が<b>研究倫理上の問題の有無等を協議した上で</b>理事会に提案を行い理事会が決定するものとする。</p>
<p>III 執筆要項</p> <p>10. それぞれの原稿コピーにつける表紙は、1枚目の表紙には、①タイトル、②原稿の種類、③所属、氏名（連名の場合は全員）、④連絡先を記入する。なお、原稿の種類は①論文、②研究ノート、③調査報告、④実践報告、⑤資料解題、から選択する。2枚目の表紙には、無記名にて、①和文抄録（400字以内）、②キーワード（5語以内）を記載する。3枚目の表紙には、無記名にて、①英文抄録（200語以内）、②英文キーワード（5語以内）を記載する。</p>	<p>III 執筆要項</p> <p>10. それぞれの原稿コピーにつける表紙は、1枚目の表紙には、①タイトル、②原稿の種類、③所属、氏名（連名の場合は全員）、④連絡先を記入する。なお、原稿の種類は①論文、②研究ノート、③調査報告、④実践報告、⑤資料解題、から選択する。2枚目の表紙には、無記名にて、①和文抄録（400字以内）、②キーワード（5語以内）を記載する。<b>なお、原稿の種類で、①論文を選択する場合は、3枚目の表紙に、無記名にて、①英文抄録（200語以内）、②英文キーワード（5語以内）を記載する。</b></p>
<p>16. 投稿原稿に利用したデータや事例等については、研究倫理上必要な手続きを経ていることを本文または注に明記すること。</p>	<p>16. 投稿原稿に利用したデータや事例等については、研究倫理上必要な手続きを経ていることを本文または注に明記すること。<b>また、記述においてプライバシー侵害等がなされないように細心の注意をなすこと。</b></p>

## **資料2** 日本社会福祉系学会連合への加入について

日本学術会議や他学会との情報交換や交流を図るために、理事会で検討した結果、日本社会福祉系学会連合（以下、「学会連合」という）への入会手続きを平成28年9月に申請しました。

学会連合は、社会福祉学系学会20団体で組織されており、主な活動は、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会への協力、日本の社会福祉系学会の活性化、交流と連携、研究条件向上のための社会的活動などです。事務局は、日本社会福祉学会が担当しています。

正会員の会費の算出は、① 定額負担金 10,000円 ② 比例負担金 会員数200名につき10,000円となっています。

学会連合の次年度5月の総会で正式に入会が認められる予定ですが、それ以前にも学会連合主催の公開研究会等の案内が届きますので、当学会のメーリングリストでお届けする予定です。

## **資料3** 日本福祉介護情報学会 2015年度事業報告

### **1 2015年度会員総会の開催**

【日時】2015年11月29日（日）13:00～13:30

【会場】田園調布学園大学 441 教室

【内容】

《報告事項》

- (1) 学会の運営について
- (2) 会員加入状況（2015年11月28日現在）  
116名（個人会員：101名 学生会員：14名 名誉会員：1名）
- (3) 研究紀要『福祉情報研究11号』『福祉情報研究12号』について
- (4) 「研究・実践企画奨励助成」2014年度実施報告並びに2015年度審査結果報告
- (5) 専門部会・学習会活動の促進
  - ①福祉介護における個人情報活用に関する専門部会（仮称）の設置
  - ②キャリア段位制に関する学習会・ワークショップ（仮称）の開催
  - ③上記を含めた研究活動の活発化  
日本学術会議への参加、厚労省・文科省科研費等の獲得、等

《審議事項》

- (1) 2014年度事業報告・決算
- (2) 2015年度事業計画（案）・予算（案）

《その他》

- (1) 2016年度研究大会の開催について
- (2) 住所等変更届の提出のお願い

【参加者】35名

### **2 理事会の開催**

#### **(1) 第1回理事会**

【日時】2015年5月24日（日）13:30～15:30

【会場】立教大学池袋キャンパス 12号館地下第3会議室

## 【議案】

### 《審議事項》

- (1) 第6期役員選挙結果と新役員の決定について

### 《報告事項》

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 研究紀要『福祉情報研究第10号』『第11号』の進捗状況について
- (3) ニュースレターの発行について
- (4) ホームページ委員会報告：ワークショップ結果報告の掲載等
- (5) 「東日本大震災にともなう学会プロジェクト」の進捗状況について

### 《協議事項》

- (1) 第6期役員体制と理事の役割分担について
- (2) 2014年度事業報告・決算について
- (3) 2015年度研究大会について
- (4) 2015年度学習会について
- (5) ワークショップの継続について
- (6) 研究紀要『福祉情報研究第12号』の構成と投稿論文査読について
- (7) その他
  - ①今年度の予定
  - ②理事メールリングリストの確認

## (2) 第2回理事会

【日時】2015年9月26日（土）10：00～12：00

【会場】立教大学池袋キャンパス12号館地下第3会議室

### 【議案】

#### 《審議事項》

- (1) 会員入会審査

#### 《報告事項》

- (1) 退会届の受理について
- (2) 前回議事録の確認
- (3) 研究紀要『福祉情報研究10号』『11号』『12号』の進捗状況について
- (4) ニュースレター第2号の発行について
- (5) ホームページの更新状況について
- (6) その他

#### 《協議事項》

- (1) 学習会の進め方と役割分担について
- (2) ワークショップの進め方と役割分担について
- (3) 2015年度研究大会について
- (4) 紀要に関する諸規定の改定について
- (5) 2015年度「研究企画奨励助成」の周知について
- (6) その他
  - ①2015年度の予定

## (3) 第3回理事会

【日時】2015年11月28日（土）15：00～17：00

【会場】田園調布学園大学4号館2階 第1研修室

## 【議案】

### 《審議事項》

- (1) 会員入会審査
- (2) 2015年度「研究・実践企画奨励助成」について

### 《報告事項》

- (1) 退会届の受理について
- (2) 前回議事録の確認
- (3) 2014年度「研究・実践企画奨励助成」報告
- (4) 研究紀要『11号』『12号』の進捗状況
- (5) ニュースレター第3号の発行について
- (6) ホームページ委員会報告

### 《協議事項》

- (1) 2015年度研究大会について
- (2) 会員総会について
- (3) 今後の活動の方向性について
  - ①個人情報保護法への対応について（学習会・部会・ワークショップの予定等）
  - ②キャリア段位の学習会について
- (4) 2016年度研究大会について
- (5) ホームページについて
- (6) 会員の拡大について
- (7) 研究紀要の国会図書館への寄贈について／日本学術会議への加入について
- (8) その他
  - ①2015年度の予定

## (4) 第4回理事会

【日時】2016年3月19日（土）10：00～12：00

【会場】立教大学池袋キャンパス5号館第2会議室

## 【議案】

### 《審議事項》

- (1) 会員入会審査

### 《報告事項》

- (1) 退会届の受理について
- (2) 前回議事録の確認
- (3) 第16回研究大会報告
- (4) 紀要『福祉情報研究第11号』の発行と『第12号』の進捗状況
- (5) 第3回「研究・実践企画奨励助成制度」（追加募集）の選考結果
- (6) ホームページ委員会報告
- (7) ニュースレター報告（資料6）
- (8) その他

### 《協議事項》

- (1) 2016年度事業計画（案）・予算（案）について
- (2) 2015年度事業報告（見込み）・決算（見込み）について
- (3) 「キャリア段位」学習会の進行と役割分担について
- (4) 紀要『福祉情報研究第13号』の企画について
- (5) 「個人情報活用に関する専門部会」の設置並びに運営について

- (6) 2016 年度第 17 回研究大会について
- (7) 学会のあり方に関して
  - ① 会員の拡大について
  - ② 日本学術会議への参加について
- 《その他》
  - ① 2016 年度の予定

### 3 各種委員会の開催

#### (1) 『福祉情報研究』編集委員会の開催

- ① 2015 年 5 月 24 日 (日) 15:30~16:30 立教大学池袋キャンパス 12 号館地下第 3 会議室
- ② 2015 年 11 月 28 日 (土) 15:00~17:00 田園調布学園大学 4 号館 2 階 第 1 研修室  
(編集小委員会の開催)
- ① 2016 年 2 月 3 日 (木) オンライン会議
- ② 2016 年 3 月 31 日 (金) オンライン会議

#### (2) ホームページ委員会の開催

- ① 2015 年 10 月 4 日 (日) オンライン会議 2015 年度研究大会の HP 運営について
- ② 2015 年 10 月 26 日 (月) オンライン会議 2015 年度研究大会の HP 掲載資料について
- ③ 2015 年 11 月 23 日 (月) オンライン会議 2015 年度研究大会の HP 掲載内容について

### 4 第 16 回研究大会の開催

【日 時】2015 年 11 月 29 日 (日) 10:00~17:00

【会 場】田園調布学園大学 主会場：441 教室 (4 号館 4 階)

自由研究発表会場：442 教室、443 教室 (4 号館 4 階)

【開催校】田園調布学園大学

【参加者】54 名

【テーマ】地域における包括的支援推進に向けた個人情報活用のこれまでとこれから  
～個人情報保護法改正を見据えて～

【内 容】

《自由研究発表》10:00~12:05

■ A会場：A会場 (443 教室) [司会 飯村理事・小川理事]

- ① 公助による介護サービスへの ICT を利活用した情報提供の考察 一埼玉県和光市の事例から一 田井義人(摂南大学)
- ② 自己発信率による異変把握の可能性検証—能動的な安否確認システムにおける 4 年半の取り組みから— 齋藤建児(東北公益文科大学)
- ③ タブレットを活用した民間事業者による見守りと生活支援サービスの一体化 小川晃子(岩手県立大学)
- ④ 福祉サービスの情報活用における本人「同意」について

飯村史恵(立教大学)

■ B会場：B会場 (442 教室) [司会 川森理事・東野理事]

- ① 鉄道事業者における、障害者割引運賃のホームページ掲載状況を検討する。 井上俊孝(西九州大学健康福祉学部スポーツ健康福祉学科)
- ② 障がい者・高齢者等多くの者に学習機会の拡張をもたらす e-ラーニングシステム

の課題と運営上の利点—滋賀大学 e-ラーニングシステム・SULMS 運用事例を参考に  
して— 庄司一也(滋賀大学)

③ 社会福祉実習の定量的把握のための試行

大原ゆい(京都府立大学)

④ 特別養護老人ホームにおける利用者支援向上のためのケアワーク記録の活用に影  
響を与えている要因に関する研究(2014年度 研究・実践企画奨励助成研究報告)

北舘 一弥(東京福祉大学)

《シンポジウム》13:50~17:00 14号館 D401 教室

テーマ「地域における包括的支援推進に向けた個人情報活用のこれまでとこれから  
～個人情報保護法改正を見据えて～」

① 「全国の地域包括ケアにおける各種情報の効果的な利活用例」

厚生労働省老健局振興課 課長補佐 川部 勝一氏

② 「笠間市における地域包括ケアシステム構築への取り組み(介護健診ネットワーク  
について)」

笠間市市長公室 企画政策課 課長 後藤 弘樹氏

③ 「高齢者向けタブレット等を活用した実証実験について」

日本郵便株式会社トータル生活サポート事業室 室長 西嶋 優(ゆたか)氏

④ 「民生委員・児童委員と個人情報」

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 民生児童委員部長 荻野 剛氏  
(東京都民生児童委員連合会 事務局)

⑤ 「地域とのつながりを密にする中での介護事業における個人情報活用」

NPO 法人 楽 代表理事 柴田 範子氏

(コメンテーター)

村井祐一(日本福祉介護情報学会理事・田園調布学園大学)

(コーディネーター)

森本佳樹(日本福祉介護情報学会理事・立教大学)

## 5 学習会の開催

### (1) 第1回学習会

【日時】2015年9月26日(日)13:30~15:00

【会場】立教大学池袋キャンパス10号館X103室

【テーマ】個人情報保護法改正案の概要と福祉・介護分野へのインパクト

【講師】内閣官房IT総合戦略室パーソナルデータ関連制度担当室 参事官補佐 生駒隆康氏

【参加者】38名

### (2) 第2回学習会

【日時】2015年3月19日(土)13:30~16:00

【会場】立教大学池袋キャンパス4342教室

【テーマ】介護プロフェッショナルキャリア段位制度の意義と展望

【講師】兵庫県立大学大学院経営研究科 教授 小山秀夫氏

シルバーサービス振興会 総務部長 久留善武氏

公益社団法人日本介護福祉士会 名誉会長 田中雅子氏

【参加者】46名

## 6 ワークショップの開催

【日時】2015年9月26日(土)15:15~18:00

- 【会 場】立教大学池袋キャンパス 10 号館 X103 室  
【テーマ】福祉・介護分野における『要配慮個人情報』の扱い方  
【参加者】23 名

## 7 第3回「日本福祉介護情報学会 研究・実践企画奨励助成制度」の選考

今年度第3回目を迎えた「日本福祉介護情報学会 研究・実践企画奨励助成」は、9月下旬から募集を開始し、11月24日（火）を締切りとしたが、応募者がいなかったため、11月29日に開かれた会員総会において、2016年1月14日（木）を締切りとして追加募集を行った結果、以下の研究・実践企画が採択された。

【テーマ】日本における医療・介護分野での個人情報の活用と保護

【申請者】矢島 敬士（東京電機大学）

【期 間】2016年2月1日～2016年11月30日

【助成額】10万円

【備 考】申請者は、2016年11月30日までに「研究・実践企画成果報告書」を提出し、第17回研究大会自由研究発表（2016年12月 兵庫県立大学を予定）において報告する。

## 8 学会紀要『福祉情報研究第11号』の配布、『第12号』の編集、『第13号』の原稿募集

- (1) 学会紀要『福祉情報研究第11号』を配布した。
- (2) 学会紀要『福祉情報研究第12号』の編集を行った。
- (3) 学会紀要『福祉情報研究第13号』の原稿募集及び編集を行った。

## 9 ニュースレターの発行 年3回（通巻32号～34号）発行

- (1) 第1号（通巻第32号） 2015年7月10日発行  
（主な内容）「新期役員体制」「第15回研究大会案内」「2015年度学習会案内」「2015年度ワークショップ案内」「2014年度ワークショップ報告」「2014年度事業計画」「ホームページ委員会からのお知らせ」など
- (2) 第2号（通巻第33号） 2015年10月10日発行  
（主な内容）「第16回研究大会案内」「研究・実践企画奨励助成案内」「学習会報告」「ワークショップ報告」「2014年度決算」「ホームページ委員会からのお知らせ」など
- (3) 第3号（通巻第34号） 2016年2月10日発行  
（主な内容）「第16回研究大会報告」「第17回研究大会案内」「会員総会報告」「研究・実践企画奨励助成の選考結果」「学習会案内」「個人情報保護に関する部会案内」「学会紀要」「ホームページ委員会からのお知らせ」など

## 10 ホームページの運営

- (1) 学会ホームページの運営  
年間を通じて学会活動関連事項をホームページ上で発信した。  
研究大会や学習会の案内などを行った。
- (2) 会員向けコンテンツの充実  
会員専用ページ内にこれまでの研究大会や紀要データを掲載した。
- (3) 学会ホームページリンク集の検討  
学会ホームページのリンク集の検討を行い、HP掲載に向けた整理を行った。



## 11 役員の改選

第6期の役員選挙を行い、理事・監事を選出した。

### (1) 投票数、投票率

投票数：選挙権保有者 102名

投票総数 46名

投票率 45.1%

### (2) 選挙結果

《理事》(被選挙理事ならびに代表理事の推薦による理事)

飯村史恵氏(立教大学)、大冢賀政昭氏(国立保健医療科学院)、小川晃子氏(岩手県立大学)、片山友子(十文字女子大学)、川森茂樹(㈱NTTデータ)、須永誠氏(東京都社会福祉協議会)、高橋紘士氏(高齢者住宅財団)、筒井孝子氏(兵庫県立大学)、東野定律(静岡県立大学)、林恭裕氏(北翔大学)、前田みゆき氏(㈱日立製作所)、村井祐一氏(田園調布学園大学)、森本佳樹氏(立教大学)

《監事》

石川治江氏(ケア・センターやわらぎ)、太田貞司氏(聖隷クリストファー大学)

### (3) 理事の役割分担

代表理事：高橋

副代表理事：森本、小川、村井

事務局長：森本

事務局次長：村井祐一

総務：森本、村井、須永、飯村、大冢賀、片山

庶務：森本、村井、須永、飯村、大冢賀、片山

会計・経理：須永、飯村

会員対応・名簿管理：須永、片山、大冢賀

企画：森本、筒井

研究大会：村井、東野、大冢賀

学習会：前田、片山

ワークショップ：川森、小川

学会紀要：林、筒井、川森、東野、大冢賀、(飯村：庶務)

広報：村井、須永

ホームページ：村井、須永

ニューズレター：小川、森本

渉外：前田、川森、筒井

各種委員会

学会紀要『福祉情報研究』編集委員会委員長：林

ホームページ運営委員会委員長：村井

ニューズレター編集委員会委員長：小川

学習会企画委員会委員長：前田

学会のあり方に関するワークショップ(仮称)委員長：川森

研究企画奨励助成制度運営委員長：森本

東日本大震災津波に関わる学会プロジェクト：小川、須永、森本

監事：石川、太田

## 12 学会の運営

- (1) 理事の役割分担の再編と事務の効率化  
業務が遅滞しないように、理事の増員と役割分担の見直しを行った。
- (2) 第6期役員選挙の実施  
2015年4月に第6期（2015年6月～2018年5月）役員選挙を実施した。  
（選挙管理委員会の開催）
  - ① 2015年5月10日（日）11：00～12：30 立教大学新座キャンパス5号館森本研究室
- (3) 規程の整備  
「学会誌『福祉情報研究』に関する諸規定及び執筆要項」の改定を行った。

## 14 会員状況（2016.3.31現在）

正会員 98名  
学生会員 14名  
名誉会員 1名

日本福祉介護情報学会2015年度決算

監事監査 2016/05/28

自 2015.04.01 ~ 至 2016.03.31

《収入の部》 (単位:円)

項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 入会金収入	40,000	11,000	29,000	
1-1 正会員	30,000	9,000	21,000	@3,000×3人
1-2 学生会員	10,000	2,000	8,000	@2,000×1人
1-3 法人会員	0	0	0	@100,000×0社
1-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
2 会費収入	585,000	594,000	△ 9,000	
2-1 正会員	540,000	570,000	△ 30,000	@6,000×95人分(実85人)
2-2 学生会員	45,000	24,000	21,000	@3,000×8人分(実8人)
2-3 法人会員	0	0	0	@100,000×0社
2-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
3 参加費収入	50,000	160,000	△ 110,000	
3-1 参加費収入	50,000	160,000	△ 110,000	9/26、03/19学習会参加費
4 雑収入	5,000	204,360	△ 199,360	
4-1 雑収入	5,000	204,360	△ 199,360	預金利子・大会剰余金・紀要頒布等
5 繰越金	3,733,000	3,870,386	△ 137,386	2014年度からの繰り越し額
5-1 基本財産繰越金収入	1,233,000	1,262,000	△ 29,000	
5-2 前年度繰越金収入	2,500,000	2,608,386	△ 108,386	
合計	4,413,000	4,839,746	△ 426,746	

《支出の部》

項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 事業費	1,330,000	1,118,222	211,778	
1-1 理事会開催費	200,000	127,430	72,570	
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	村井研究室
1-3 委員会費	30,000	0	30,000	
1-4 紀要発行費	300,000	388,000	△ 88,000	
1-5 学習会開催費	70,000	60,402	9,598	9/26、03/19学習会講師料・消耗品
1-6 広報活動費	80,000	92,390	△ 12,390	HP年間メンテ費用他
1-7 研究助成費	300,000	100,000	200,000	助成1件
2 事務費	130,000	130,707	△ 707	
2-1 什器・備品費	10,000	205	9,795	
2-2 印刷費	30,000	0	30,000	
2-3 通信費	80,000	130,502	△ 50,502	
2-4 事務補助員費	10,000	0	10,000	
3 繰越金	1,273,000	3,590,817	△ 2,317,817	2016年度への繰越額
3-1 基本財産繰越金	1,273,000	1,273,000	0	入会金及び入会金繰越額相当
3-2 次年度繰越金	0	2,317,817	△ 2,317,817	
4 予備費	1,680,000	0	1,680,000	
合計	4,413,000	4,839,746	△ 426,746	

貸借対照表

《借方》

科 目	金 額
流動資産	3,596,817
預金(普通預金)	3,596,817
未収金(会費等)	0
現金	0
資産合計	3,596,817

日本福祉介護情報学会2015年度決算に

ついて、同学会会則第14条5)にもとづき

決算書、貸借対照表、証憑、預金通帳等

《貸方》

科 目	金 額
流動負債	6,000
前受金	6,000
未払金	0
負債合計	6,000

により監査を行った結果、いずれも適正に

執行され、過誤ないものと認めます。

平成28年 5月28日

基金	1,273,000
基本財産	1,273,000
剰余金	2,317,817
当期剰余金	2,317,817
純財産合計	3,590,817
負債・純財産合計	3,596,817

監事 太田 貞司

監事 石川 治江

## 資料5 日本福祉介護情報学会 2016年度事業計画（案）

（★は新規事業）

### 1 学会の運営

- (1) 会員総会の開催  
年に1度、会員総会を実施する（第17回研究大会開催時）
- (2) 理事会の開催  
学会の運営を図るため、年に4回程度理事会を開催する
- (3) 各種委員会活動の充実  
学会の活動の基盤となる各種委員会活動の充実を図る
  - ① 『福祉情報研究』編集委員会の充実
  - ② ホームページ委員会の充実
  - ③ ニュースレター編集委員会の充実
  - ④ 「学習会」企画委員会の充実
- (4) 理事会・事務局機能の充実
  - ① 理事の役割を明確化し、機能の充実をはかる
  - ② 会員ニーズに即応できる事務局体制を整備する
- (5) 会員の拡充と財源の安定
  - ① 人材と財源を安定確保し、活発な活動を保障するために、会員数の増加を図る

### 2 研究活動の推進

- (1) 研究大会の開催  
兵庫県立大学を会場として第17回研究大会を開催する
- (2) 学習会の開催  
時宜を得たテーマの下に、適宜、学習会を開催する
- (3) ワークショップの開催  
学会の方向性を検討するためのワークショップを適宜開催する
- (4) 学会紀要『福祉情報研究』の発行
  - ① 学期紀要『第13号（2015年度号）』を発行する
- (5) 「個人情報活用に関する専門部会」の設置並びに運営
- (6) 第4回「研究・実践企画奨励助成制度」の実施

### 3 広報活動の推進

- (1) ホームページの安定的運営
  - ① ホームページのコンテンツの拡充を図り、安定した運営を行う
  - ② 会員専用ページのあり方に関する検討
- (2) ニュースレターの発行：年3回（7月頃、10月頃、2月頃）を予定

### 4 他学会・研究団体との連携

- 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本医療情報学会等との連携を図る  
★日本学術会議への加入を検討する

2016年3月19日理事会提出				
日本福祉介護情報学会2016年度予算(案)				
自 2016.04.01 ~ 至 2017.03.31				
《収入の部》				
(単位:円)				
項 目	今年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1 入会金収入	40,000	40,000	0	
1-1 正会員	30,000	30,000	0	@3,000×10人
1-2 学生会員	10,000	10,000	0	@2,000×5人
1-3 法人会員	0	0	0	項目存置(@100,000)
1-4 賛助会員	0	0	0	項目存置(@3,000)
2 会費収入	600,000	585,000	15,000	
2-1 正会員	570,000	540,000	30,000	@6,000×95人
2-2 学生会員	30,000	45,000	△ 15,000	@3,000×10人
2-3 法人会員	0	0	0	項目存置(@100,000)
2-4 賛助会員	0	0	0	項目存置(@30,000)
3 参加費収入	50,000	50,000	0	
3-1 参加費収入	50,000	50,000	0	学習会・研究会等
4 雑収入	5,000	5,000	0	
4-1 雑収入	5,000	5,000	0	預金利子等
5 繰越金	3,533,000	3,733,000	△ 200,000	2015年度決算見込額
5-1 基本財産繰越金収入	1,273,000	1,233,000	40,000	
5-2 前年度繰越金収入	2,260,000	2,500,000	△ 240,000	
合計	4,228,000	4,413,000	△ 185,000	
《支出の部》				
項 目	今年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1 事業費	1,550,000	1,330,000	220,000	
1-1 理事会開催費	200,000	200,000	0	3回分(×3人)旅費等
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	開催校助成
1-3 委員会費	50,000	30,000	20,000	部会・委員会活動費(ワークショップ含)
1-4 紀要発行費	450,000	300,000	150,000	通常号1号分
1-5 学習会開催費	100,000	70,000	30,000	謝礼・資料印刷等
1-6 広報活動費	100,000	80,000	20,000	HPメンテ(@6000円×12月)他
1-7 研究助成費	300,000	300,000	0	1件10万円×3件を見込む
2 事務費	250,000	130,000	120,000	
2-1 什器・備品費	10,000	10,000	0	事務用品等
2-2 印刷費	100,000	30,000	70,000	封筒作成分
2-3 通信費	130,000	80,000	50,000	ニュースレター他郵送、振込料等
2-4 事務補助員費	10,000	10,000	0	学生バイト費
3 繰越金	1,313,000	1,273,000	40,000	
3-1 基本財産繰越金	1,313,000	1,273,000	40,000	入会金及び入会金繰越充当
3-2 次年度繰越金	0	0	0	(決算処理科目)
4 予備費	1,115,000	1,680,000	△ 565,000	
合計	4,228,000	4,413,000	△ 185,000	